

Q.5 各店舗の取引先を基に実勢商圈を作成したい!

A.

1. 必要なデータを選択し、町丁リストを作成します。
2. 顧客リストから支店ごとの取引先を追加します。
3. 全体の70%を占める領域を作成します。

1 必要なデータを選択し、町丁リストを作成します。

※町丁リストとは…?

町丁単位のデータリストのことです。

ID	名称	年次	単位
1	東横田1	101001010	
2	東横田2	101001020	
3	東横田3	101001030	
4	東横田4	101001040	
5	大田山1	101002010	
6	大田山2	101002020	
7	大田山3	101002030	
8	大田山4	101002040	
9	大田山5	101002050	
10	大田山6	101002060	
11	大田山7	101002070	
12	大田山8	101002080	
13	大田山9	101002090	
14	大田山10	101002100	
15	大田山11	101002110	
16	大田山12	101002120	
17	大田山13	101002130	
18	大田山14	101002140	
19	大田山15	101002150	
20	大田山16	101002160	
21	大田山17	101002170	
22	大田山18	101002180	
23	大田山19	101002190	
24	大田山20	101002200	
25	大田山21	101002210	
26	大田山22	101002220	
27	大田山23	101002230	
28	大田山24	101002240	
29	大田山25	101002250	
30	大田山26	101002260	
31	大田山27	101002270	
32	大田山28	101002280	
33	大田山29	101002290	
34	大田山30	101002300	
35	大田山31	101002310	
36	大田山32	101002320	
37	大田山33	101002330	
38	大田山34	101002340	
39	大田山35	101002350	
40	大田山36	101002360	
41	大田山37	101002370	
42	大田山38	101002380	
43	大田山39	101002390	
44	大田山40	101002400	
45	大田山41	101002410	
46	大田山42	101002420	
47	大田山43	101002430	
48	大田山44	101002440	
49	大田山45	101002450	
50	大田山46	101002460	
51	大田山47	101002470	
52	大田山48	101002480	
53	大田山49	101002490	
54	大田山50	101002500	

町丁リスト

2 MDSの機能である『展開ダウンロード』を使用します。町丁リストにダウンロードする階層と展開キー指標を選択します。今回は顧客階層と支店コード指標を使用します。

※展開キー指標とは…?

例えば支店コードをキーとして使用すれば、支店ごとに集計されたリストが出力できます。

※展開ダウンロードとは…?

例えば支店コードをキーにして、その支店ごとに集計データを横に展開すること。

展開ダウンロードの設定画面

展開する階層の集計キーと出力指標を選択します

展開階層
個人取引先(今期)

キー指標			
ID	名称	年次	単位
N 4	取引 支店コード		

出力指標			
ID	名称	年次	単位

展開条件

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

3

顧客階層の指標一覧から集計する指標を選択し、出力指標を設定します。

参考まで…データの件数をカウントしますので、欠測のない指標を選択し、度数集計します。
(右の図の場合は個人取引先数をカウントすることになります)

顧客階層の指標一覧

ID	名称	年次	単位
N 8	各階層における表示フラッグ		
N 9	大分類コード		
N 10	中分類コード		
N 11	小分類コード		
N 89	ID		
N 91	X座標		
N 92	Y座標		
N 101	CIF番号		
N 102	取引区分		
N 103	個人分類コード		
A 104	支店名		
A 105	住所		

選択済指標

ID	名称	年次	単位
N 1001	CIF番号		

展開ダウンロード (1 / 3)

展開する階層の集計キーと出力指標を選択します

展開階層
個人取引先(今期)

キー指標

ID	名称	年次	単位
N 4	取引支店コード		

出力指標

ID	名称	年次	単位
N 1001	CIF番号		

展開条件

戻る(B) 次へ(N) キャンセル

4

展開する階層の名称と、階層のキー、名称指標を選択します。

今回は支店ごとにデータを作成するので、『支店階層』を選択し支店コード、支店名を選択します。
※こうすることで、支店コード単位のデータが、リストとして表示するときに支店名で表示されます。

展開する支店を選択し【完了】をクリックするとリストが完成します。

展開ダウンロード (2 / 3)

展開指標の名称とする階層のキーと名称指標を選択します

名称階層
支店

キー指標

ID	名称	年次	単位
N 4	支店コード		

名称指標

ID	名称	年次	単位
A 5	支店名		

展開ダウンロード (3 / 3)

展開する項目を選択します

展開項目

- G支店
- L支店
- D支店
- B支店
- M支店
- N支店
- F支店
- 支店
- E支店
- J支店
- C支店
- A支店
- H支店
- K支店

戻る(B) 完了 キャンセル

5

支店ごとに取引先が町丁リストにダウンロードされました。

町丁名称(システム)	A支店	B支店	C支店	D支店	E支店	F支店	G支店	H支店
1 青葉台1	*	*	200206724	*	*	*	1571500	*
2 青葉台2	*	*	117897028	*	*	*	2443701	*
3 青葉台3	*	*	188223508	*	*	*	2958077	*
4 青葉台4	*	*	153580814	*	*	*	1263084	*
5 大田山1	8283849	14832946	*	*	*	*	*	*
6 大田山2	*	10383932	*	*	*	*	*	*
7 大橋1	*	*	100543368	*	*	*	4525008	*
8 大橋2	*	*	166560484	*	*	*	9370083	*
9 橋の本郷1	15840387	9130078	*	*	*	*	*	*
10 橋の本郷2	232233002	6113396	*	*	*	*	1630095	*
11 橋の本郷3	159833085	3042276	*	*	*	*	5760032	*
12 上目黒1	*	*	121116484	*	*	*	*	*
13 上目黒2	8887013	*	181358843	*	*	*	3575664	*
14 上目黒3	4000327	*	227868030	*	*	*	4575900	*
15 上目黒4	12580430	*	151328366	*	*	*	7427653	*
16 上目黒5	7866343	*	181664628	*	*	*	13257111	*
17 駒場1	*	*	188738689	*	*	2478703	7836013	*
18 駒場2	*	*	6380029	*	*	*	5584832	*
19 駒場3	*	*	43885529	*	*	1423353	*	*
20 駒場4	*	*	1888888	*	*	8888887	1333333	*
21 五本木1	176401478	*	*	*	*	*	*	*
22 五本木2	28580367	*	*	*	*	*	*	*
23 五本木3	317241471	*	*	*	*	*	*	*
24 下目黒1	*	*	*	*	*	*	*	*
25 下目黒2	*	*	*	*	*	*	*	*
26 下目黒3	3783664	*	*	*	*	*	*	*

支店ごとに取引先が追加された町丁リスト

6

自店取引全体の70%をカバーしている範囲を作成します。
MDSの機能である『指定領域』を使用します。

※指定領域とは・・・？

ポイントを中心に指定の値になるまで領域を作成します。



7

- ①支店を選択します。
- ②領域を選択します。(円 or 道路)
- ③指標を選択します。
貯蓄預金残高を計算して領域を作成します。
- ④領域の作成方法を選択します。(比率 or 実数)
入力した値まで領域を広げて作成します。

設定がすべて終了したら【領域作成】をクリックします。

